

事業所名

シリウス神戸

## 支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

15 日

法人（事業所）理念		【法人理念】・家族経営の心で ・私たちは利用者1人1人の想いに寄り添い「共に学び、共に生きる」の精神で行動します 【事業所理念】・将来 子どもたちが自己決定・自己選択ができ 自分らしい生活が送れるような支援の提供					
支援方針		障がい特性 年齢 学校も違う子どもたちの小さな社会の中で協力ができ 時には競い失敗体験もでき個々の成長ができる場所づくりを行います。 ひとりひとりの発達に合わせた支援の提供 保護者様に寄り添い安心 信頼して預けられる場所					
営業時間		9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	体調管理 検温・手洗い・うがい・トイレトレーニング（排泄 排尿チェック） 生理時の対応 水分摂取量 季節や気温に合わせた着脱 上着やズボン・ファスナー・ボタン・靴ひも等から着脱の自立に繋がります。 基本的には規則正しい生活 起床時間 就寝時間では家庭との情報を共有					
	運動・感覚	・座位姿勢には特に注意を回り学習時の座位姿勢・長座・あぐら座位姿勢で体幹を強くする。垂脱臼の予防 ・季節に合わせた壁面製作⇒道具（ハサミ・のり・シール・ペン）を使い手先を使う動作の反復からできる動作を練習していきます。見本や製作手順を見て作成するなど個々のレベルに合わせた支援をします。					
	認知・行動	・基本的には学校の宿題をメインに学習の反復をする 文字の読み書き（名前を書く） 簡単な計算⇒生活の中で学習を活かす⇒お金の計算 時間 駅の名前など生活に必要なものを取り入れた支援を行います					
	言語コミュニケーション	・挨拶やありがとう・ごめんなさい等 スタッフや・お友達との会話の中で伝えられるようにします。。 職員やお友達との会話のやり取りから語彙力を伸ばします。 ・食事での咀嚼を通して口の周りの筋肉を鍛え発語に繋げる 2択の選択で見た方を意志とする。手話やマカトン等もコミュニケーションツールとして視覚支援も取り入れる 指示の理解・質問など困りごとは口頭で日々の生活の中で伝えていけるようにします。					
	人間関係社会性	・スタッフやお友達との日々遊びの中で相手の気持ちを考え伝えることができるようになります。 困った時には困りごとを伝えることができる 音楽療法や遠足をではお友達と協力をして活動することから社会性や協調性を学び養います。					
家族支援		・面談時以外でもお子様のお悩みがある時は気軽に話ができる環境を作ります。		移行支援		・ショートステイ・移動支援・進路等で必要なときは面談以外でも相談に応じます。	
地域支援・地域連携		・自然災害は地域と協力をします。年2回避難訓練実施・研修を行い必要な備品の備蓄ストック		職員の質の向上		・外部研修の参加 個人のスキルを上げる ・毎月ミーティングでは内部研修を行い職員間の情報を共有をする	
主な行事等		・毎月2回外部の専門講師を招いての音楽療法 季節に合わせた壁面製作 季節行事（節分・ひな祭り・節句・水遊び・ハロウィン・芋ほり・クリスマス・卒業式毎月お誕生日会） 昼食クッキング おやつクッキング 事業所内でのおやつのお買い物・好きなものを選ぶおやつバイキング 工場見学 交通機関を使っての外出 等					